

# かわらばん

号外 2016年1月13日版



民主党枝野幹事長 2015年12月7日

野党共闘にエールを送る！

## 野党五党の代表らと面談

一票で変える女たちの会は昨年一二月に、枝野幸男民主党幹事長、松野頼久維新の党代表、志位和夫共産党委員長、小沢一郎生活の党と山本太郎と仲間たち共同代表、福島瑞穂社民党副党首の皆さんと面談してきました。五人の皆さんには安保法制の廃止のための野党共闘を応援していることを伝え、私たち市民からは何ができるのかについての「ご意見・ご希望をたずねました。」

民主党 ◆ 枝野幸男幹事長  
憲法違反の安保法制は廃止という、大きなうねりを

— 本日はお忙しいところをありがとうございます。私たちは、安保法

を廃止してほしい、そのために民主党が中心になって野党をなんとか一つにまとめてほしいと願っています。

枝野 与党の立憲主義違反をなんとか止めねばなりません。あわせてメディアに対する圧力を止めなければなりません。少なくとも安倍政権の暴走を止めねばなりません。そのためにも来年の参議院選挙は勝たなければなりません。投票率が下がっていることもなんとかしてはならないですが、まずは野党が一つになる必要があります。

とはいえ共産党さんのご提案は、はっきり言いたいへん難しい。党内でもいろいろな意見がありますので、そのために党が割れてはなんに

もならないということもありますから。

— 安倍政権は嫌だけれども、ほかに投票先がないということを使う方はいない人が多いです。今こそ民主党には、受け皿として考えをはっきりさせ、しっかりとまとめてほしいと思います。

枝野 民主党はバラバラだ、という批判を受けがちなのはご指摘のとおりだと思います。が、あえて言わせていただければ、とくに岡田代表は手続きを大事にする人なので、「リーダーが先に結論を言っってはいけない」と言うのですが、やはり結論を先に出したがる人もいます。そうすると、「やっぱり民主はバラバラだ」

とマスコミが飛びつくわけです。一方で政治のリーダーは、半歩先に踏み出してものを言っていかなければならないわけですから、党内の意見をまとめて意思統一をしていくこととバランスをとりながらこの間、たいへん苦勞してやっています。

ただ、参院選に向けて、場合によってはアンチ民主のメディアに何を書かれようと、半歩踏み出してやっつていこうという方向に全体がなりつつあるところです。

安保法制に関して党としては、「九月一八日、つまり採決前の法律に戻し、その上で、対案部分を出す」ということで党内一致するよう努力しています。

——そうですね、党内で自由に異論が言えるというのは大事なことで、バラバラというのは悪いばかりではないと思いますが、この際は細かい違いは脇に置いて、とりあえずは参院選に向けて「安保法制廃止」という大きな目標に集中していただきたい。具体的には今後どのように動いていけますか。

枝野 やはり憲法違反の安保法制は

廃止という、大きなうねりを作っていかなければならない。そういう意味で憲法記念日に向けてどうリアルに動くかが大事でしょう。石川県や北海道五区の衆議院議員補欠選など、市民の皆さんが幅広く応援できる候補者を出すために全国各地ですらに協議が進んでいます。あちこちで「安保法制反対!」という候補者が出てくればマスコミも無視できないと思います。

——この間の集会やデモの様子を見ていると、共産党を支持する人も増えているようです。

枝野 選挙はやはり勝たなくてはいいけません。勝つためには反安保法制の集会に来る方々の票だけでは難しい。安保法制に関心のない人も、共産党に拒否感のある人も取り込まなくてはいけない。距離の取り方が難しいところですが、共産党さんとは上手にやっていきたい。

——政党ではなく、争点とか政見で人を選べるように無所属の候補者を増やすことはできないのでしょうか。

枝野 出身政党がどこかというのはすぐにわかりますから、そう簡単ではないですね。

——一八歳から選挙権をもてるようになりますが、若い人に向けての対策は？

枝野 若い人は新聞よりもネットを読みますので、ネット対策に力を入れます。

——衆院選とのダブル選挙になるのでしょうか。

枝野 あり得るとは考えています。それに備えて勝ちうる候補を憲法記念日まで二〇〇人程度は準備できると考えています。ともかく、参院選で少なくとも与党三分の二になるのを止めて楔を打ち込み、次に備えたいですね。

勝つためには一人区での一本化が非常に大事になります。それには永田町の中だけのチマチマ連携ではなく、国民と幅広い連携をとっていく必要があります。全国の市民団体などの皆さんが幅広く連携した結果と

して共産党も候補者を下してくれる余地が生まれるのではないかと思っていますので、そのような市民の皆さんへの働きかけをしています。そこで皆さんのような市民団体のみさんのサポートが非常に重要と思います。

——ありがとうございます。

### 共産党 ◆ 志位和夫委員長

皆がきちんと協力できる体制ができたらず勝てる

——本日は、ありがとうございます。安保法制だけは、なんとしても廃止、との思いが強くなりました。志位委員長からいち早く野党共闘の呼びかけがあり、心強く、何とかして実現させてほしいと思います。私たちは、参議院選挙で安保法制反対の勢力が勝つことを目標にネットで呼びかけ全国から集まっています。

これまで衆参両議院の方々にアンケートをしたり、先日は女性議員さんとの意見交換もして、田村智子議員にご出席いただきました。



共産党志位委員長 2015年12月21日

んなで力を集めて、なんとか自民党を打ち負かして、まずは参議院で与党を少数にする。そして、安保法廃止と閣議決定の撤回を実現させたい。そこまでやるには、どうしても政権交代しないといけない。まだ合意に至っていないので、国民のみなさんの後押しが必要です。今日のような面談はありがたい。

—先日、維新の党の松野さんにもお会いしました。松野さんとの面談の時に「志位さんにお会いして、本当に信頼できる人だと思った」とおっしゃっていました。

志位 じつは、熊本で統一候補がほぼ決まりました。五〇団体と野党五党（民主、共産、維新、社民、新社会党）、県連合、県労連でまとまりそうです。市民団体の人です。当選後は、無所属で。第一号。熊本方式が全国に広がると良いと思います。ただ、民主党の現職区が一〇以上ありますから、政党間の協議が必要で。私どもの方から民主党の内閣の事をあれこれ言うわけにはいきませんが、トップ同士で話し合い、何とか合意を得たい、と思っ

す。

—昨日、市民連合の記者会見で、山口二郎さんに会ったので、志位さんへの伝言をおたずねしたら、「ぜひ、共産党の協力を切に切にお願いしたい」とのことでした。

志位 候補者調整に当たっては、しっかりと協議が必要です。一本にならないとどうしようもありませんので。

—北海道五区の衆議院補選もあります。このあと、生活の党代表小沢一郎さんとも会うので、市民、主権者から、ぜひ統一候補を立ててほしいとお願いしようと思います。

志位 昨日北海道で、誠意を持った協議としっかりした合意が必要、と話をしました。

—新党大地の党の鈴木宗男さんと会って、お願いしようと思います。鈴木さんは「共産党とは一緒にやれない」とか言っているのです。

志位 昨日も、新党大地との関係に

ついて質問を受けました。安保法制の廃止と立憲主義の回復で、まともなやり方っていい。

—昨日、立憲ネットの集会で、共産党の山下書記長の話があったが、一番はつきりして力強かった。①沖繩辺野古の基地新設阻止、②一九の暴挙に対し違憲訴訟をすること、③安保法を廃止に追い込む、と。しかし、その後、内閣支持率が上がっているのが問題です。

—安倍政権はこの一番大切な問題から国民の目をそむけるために、小手先で経済問題を前面に打ち出しています。

志位 一昨日でしたか、北海道五区の衆議院議員補選で、民主党は池田真紀さんを推薦決定。無所属です。私たちは前から候補者を立てています。私たちはもちろん自信をもっています。私たちがよく話し合う。今後の話し合いですが、やはり無所属で出た場合、問題は当選後の活動をどうするか、です。当選後も無所属で通すことが大事。沖繩の糸数議員は野党共闘で当選し、当選後は無所属で

活動すると協定を結んでいる。だから政党も市民団体も安心して応援する。当選後に共産に入っても、社民に入っても、それぞれ困る。もちろん安保法制を廃止にすること。無所属を守るということでした。合意できれば、みんなの力が発揮できると思います。

—北海道五区は、故町村議員の地盤でもあるのでむつかしいという声もある。

**志位** ただ、全体で野党共闘ができれば勝てます。民主党と共産党の票を合わせて、そこに市民、労組の協力を得られれば、勝てます。真剣な協議と合意、それに当選後も無所属という協定があれば、勝てると思います。

池田真紀さんとはお会いしたことはないが、昨日の記者会見を見ると、はっきりと安保法制反対と、集団的自衛権容認の閣議決定の撤回と言っているようです。

—今後一八歳から投票になる。投票の大切さを教えてあげてほしい。

**志位** 教えるというより、色々な運動から学ぶことが大切です。

Teens SOWL, Teens SOWL Westにも呼ばれて行ってきた。それぞれ立派です。言葉が輝いている。私が行ったら、和夫！和夫が来た！と言ってくれた。喜んでいいの……。喜んでいいんでしょうね。

—今、一番共産党が信頼されています。中学生も理解しています。反共を乗り越えるべく、政治家も努力すべきです。

**志位** ハードルは乗り越えるためにある。乗り越えられる。『アエラ』の鼎談で、民主党岡田委員長、維新の党松野代表と私が話し合った。例えば辺野古の問題で今の強権的な進め方はダメということは一致しました。経済の問題でも、派遣法、最低賃金など今までも一緒にやってきたんです。北海道はPPPの問題を訴えれば勝てるのではないですか。自治体の七七%が反対ですよ。

—首都圏と地方では、問題についての関心に開きがあります。志はあが動けない人たちにどう働きかけ

ればいいでしょうか。

**志位** SAELDS、ママの会はSNS「フェイスブックやツイッターなどのインターネットツール」を使っている。例えば、高知で一人だったママが、SNSで上げるとあつという間につながる。だれの子どももころさせないの一言で拡がっている。Teens SOWL、SEALDSもそうでしょう。北海道は「戦争したくなくてふるえるデモ」、SEALDS関西 SEALDS琉球もある。

—REDEMOSという政策集団もある。

**志位** 特別の人がやっているのではないんですよ。個人の言葉ですから。

—キャッチコピーとして、憲法学者小林節さんは「安倍さんよりいいだろう」かどうか？と言っていた。昨日の市民連合も良かったし、早稲田でのシンポジウムも満員でした。

**志位** 国会が始まったら、必ず盛り上がりですよ。国会内で、国会前の声が聞こえていました。最後に「選

挙一緒にやってくれますよね！」と質問された。そのときは方針を決めていたのですが、まだ正式に決めていなかったもので、手を上げながら頷きました。

—今日、違憲訴訟準備をしている弁護士らが記者会見しました。市民の側でも様々な団体が生まれ、声を上げています。今回の戦争法制が施行されるは大変なことになる。多くの国民の恐れなのです。本当に女性たちは、戦争になったらどうしよう、と心配なんですよ。

**志位** 最後に一つお願いがあります。一部から、「共産党は自主的に候補者を下ろして、そつと協力してくれたら良い」と言われるが、きちんとした協議と合意が必要です。共産党も志を持って頑張っている中で、共産党支持者も一丸となって闘える体制を作らないと勝てない。皆がきちんと協力できる体制ができたら必ず勝てますよ。

—今日はありがとうございました。

## 生活の党と山本太郎となかまたち

### ◆小沢一郎共同代表

比例代表は統一名簿方式が肝心。フランスに倣ってまとまること

—今日は、ありがとうございます。  
来年の参院選は野党共闘でやっつけないと安保法制廃止ができないと思うので、各党にお願いに行つていきます。

小沢 野党共闘は今までずつと言ってきたことですが、ちよつとずつ進んでいる感じです。あとは、みなさんの力次第です。市民連合には、入っ



生活の党小沢代表 2015年12月21日

ているのですか？

—はい、参加しています。昨日の記者会見にも出席しました。小沢さんは、最初から野党共闘をおっしゃっていましたね。

小沢 新党をつくるのがベストですが、現実的にはオリープの木方式でやるしかないと思います。

—志位さんは「共産党は協力だけして」というのでは困るとおっしゃっていました。

小沢 そうですね。「候補者下ろせ。協力だけして」というのでは、あまりに一方的です。そういうことを言う人がいるから、なかなかまとまらないんです。

—そういうことを言わないようにして、野党の統一候補の人を押し、その無所属の人は安保法制廃止、閣議決定撤回をしつかり主張する、ということですね。

小沢 安保法制廃止法を出さなければいけません。

—国会の冒頭から出されるのですか？

小沢 出してもいいですが、負ける（少数野党）状態で出しても単なるパフォーマンスに終わってしまいません。廃止法を通すためには、参院選に勝たなければなりません。そして、みんながまとまるよう、民主党がその音頭を取るべきと、ずっと前から言ってきましたが、なかなか進まない。だけど、多分みなさんの声もつと大きくなれば、情勢が変わつてくると思います。

—今度の参院選が正念場ですね。

小沢 そうです。参院選で八〇以上の議席を取れば良い。みんなでまとまれば、三二の一人区は全部勝ちますから。一五の複数区は、それぞれやれば、共産党以外で平均一人以上——共産党はトータルで、たぶん今度は一〇以上取れると思います——そして比例代表は、今は安保法制反対の声が高まってきているから、統一名簿でやれば、二〇以上取れると思います。そうすると、共産

党以外で七〇なので八〇以上になり、ますから、自公の過半数割れになり、そうすれば安倍首相は退陣することになるでしょう。

—衆参ダブル選挙は？

小沢 ダブルになると大変です。しかしダブル選挙はありません。定数は正せず違憲状態で解散総選挙をやれば、安倍政権は世間的には不利になる。

しかしダブル選挙の可能性が高ければ、できるだけ早く準備をしなければならぬ。

—小沢チルドレンと言われたような候補者の立て方はもうやらないのでしょうか。

小沢 いずれにせよ、統一名簿方式が肝心です。統一名簿というのは、選挙の際の届出政党を一つにするわけです。候補者は既存の政党に所属していても良い。二重国籍でよいのです。法律上問題ありません。現在所属している政党はそのままにして、みんなが同じ傘に個人で入れればよいのです。民主党はまだその考え

になっていません。市民連合の山口二郎さんも言っているようですが、もっとみんなが「やろう」と言える、と思います。

—北海道五区の衆議院議員補選の候補者は、決まったようですが。

小沢 候補者は決まったが、各党が一致してやるということは決まっていないうです。新党大地の鈴木宗男さんは「やらない」と言っているようですね。そんな中で、共産党に「協力だけせよ」というのは、うまくいかないんじゃないですか。参院選で複数区でもオリブの木方式が良いが、それぞれでの政党で選挙に臨もうということでもやむを得ない。一人区はみんな一緒。三二取ればよい。

—一部の世論調査では安倍政権支持率が四八%近いのを見ると、この落差をなんとかしなければならぬ。

小沢 政治家も「自分が安泰であればよい」と考えている人が多い。民主党のおもな人たちに、「なぜ統

一候補を立てないのか」「そういう人は応援しない」あるいは、さらに進んで「他の人を立てる」とでも言えればよい。市民連合として声を上げるのもいいが、やはり選挙区の地元の人が出た国会議員に対して野党の大同団結を迫るのが、一番効果的です。

—統一候補の発表は早いほうがいいのでしょうか。

小沢 もちろんです。単なる候補者調整では、支持政党の候補者でない人の応援に力が入りません。統一候補選定委員会を作り、そこに任せればよい。最近のいい例はフランスです。フランスで極右政党を落とすために左派連合と右派連合—両派とも三つずつの政党が入っている—が協力したようにやればよい。選挙は常にベターの選択です。マスコミからの批判に耐えるためにもフランスに倣ってまとまることです。

—フランス方式！ そうですね。今日はどうもありがとうございます。

### 社会民主党 ◆ 福島みずほ副党首 武器輸出、原発による経済発展を 女たちは望まない！

—私たちは野党共闘への後押しをしたいと考えています。選挙に向けて一般市民、普通の女たちがどのような応援をしたらよいのかについて、福島さんのご希望、ご意見を伺わせてください。

福島 七月の参議院選挙で過半数をとること、自民党案の憲法改正を阻止するためにはどんなことがあっても三分の一以上の議席を確保することが必要です。現在の安倍政権で起こっていることは憲法違反でクーデターのようなものであり、出来るだけ早く元に戻さなければなりません。打ち出す課題は、①違憲である安保法制廃止、②自民党憲法改正案の阻止です。

具体的な方針は、三二カ所の「一人区」では野党が協力して共闘し、勝ち取る。全国比例代表はどこも激戦であり、それぞれが戦うこと。比例代表非拘束名簿式ですから、政党の得票数によって当選人数が決ま

り、届出名簿のうち個人得票の多い候補から順に当選することになります。投票には政党名と候補者名どちらでもいいのですが、候補者名が書かれることが望ましいですね。

—現在、どのような状況ですか。

福島 野党共闘を進め、統一候補者擁立を図る。熊本県では新人、阿部ひろみ（女性弁護士）さん、石川県では同じく新人、柴田未来（女性弁護士）さんの出馬が決定しています。候補者を挙げるのに時間がかかっています。力を合わせて頑張っている途中という状況です。

参議院選挙の前に四月に北海道五区衆議院補欠選挙があり、池田真紀（社会福祉士）さんが出ます。また、一月中に沖縄宜野湾市市長選、岩国市長選等と続き、これらは前哨戦としても重要。時間との闘いです。

—憲法論議については？

福島 現在、憲法改正については各党をはじめとして、多くのあらゆる意見が出されています。民主党、維新の党は改正の意見を持っている

中、社民党はきびしく護憲です。今、野党間で仲間割れすることのないように自民党憲法改正案に対し、「NO」ということが重要ですから、「憲法をどのように変えていくのか」という議論にはせず、自民党の憲法改正案に反対する状況をつくっていかなくてはなりません。自民党による憲法改正については日本会議等できちんと準備を進めており、私にも誘いがきて驚きました。政府はまず、九条でない条項から進めていくのではないかと思われる。憲法改正案には九条だけでなく、二四条をはじめ多くの問題があることをしっかりと知らせていきたいです。



社民党福島副党首 2015年12月24日

また、テロ対策を掲げて政府が「緊急事態宣言」を出して自由に軍隊を動かせることを検討中です。個人情報問題や特定秘密保護法等について、一層注視する必要があります。

具体的な対策として、社民党では民主党、共産党、市民をつなげたいと頑張っています。社民党はこの党とも意見交換できる立場にあり、がんばりたいです。皆でさらに力を合わせる気運を盛り上げていきます。

—女性市民へのメッセージをお願いします。

福島 「一票で変える私たちの会」はぜひ独自性を出して、わかりやすく、豊かでシンプルな表現でキャンペーンをはり、広く呼びかけてほしいです。

与党側は力で国民を抑えようとしている。人を人とも思わない、人を切り捨てる内閣です。「三本の矢、輝く女性の活躍、一億総活躍」と実態のない言葉を巧みに使い、経済！経済！と声高に、子育て支援を言いながら一方で子ども手当・社会保障削減をしようとしています。「介

護離職ゼロ、軽減税率」等の言葉をつぎつぎ繰り出すので、国民は騙されそうな状況にあります。実態は一握りの人のための政治を、人々が気付かないうちに進めていることを訴えていきます。

女性が参政権を得て七〇年となりますが、まだまだ「政治は男性のもの」との考え方も残っています。武器輸出、原発による経済発展を女たちは望まない！という声をはっきり出していききたいですね。

女性議員が少ないことも問題です。女性であれば誰でもよいわけではなく、「戦争しない国に、国としての発展でなく、一人ひとりの尊厳を守っていく国に」を目指す女性議員の増加の必要性を痛感します。投票率をあげていくことは重要なカギとなります。

時間との闘いです。こうした会を持つことで投票率をあげていくことが個人的立場からも皆様と一致するところ。がんばりましょう。ありがとうございます。

—ありがとうございます。

※ 松野頼久維新の党代表との面談記録は、ご本人の要望で、残念ながら掲載をみあわせませす。



「一票で変える私たちの会」かわら版\*ネットやメールを利用されない方には印刷版をお届けしています。

ネットでご覧になる方も、ぜひ印刷してご友人・知人の方に紹介してください。

★投稿大歓迎！

本や映画の紹介、地域での活動報告、選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見、なんでもお寄せください。(二本について一二〇〇字〜一六〇〇字)投稿先:

lpyodakaeru@gmail.com

郵便の場合

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1の1

東京ボランティア・市民活動センター

ターメールボックス No. 45

FAX: 03-5684-1412